

## ぼくの名前は “アオバズク”のギョロ。

4月にお父さんとお母さんが、ニッポンに渡ってきたんだ。  
そしてぼくが、ここカナダ町で生まれたってわけ。  
だけど、巣から落っこちちゃって、死にそうなところ人間に  
助けってもらったの。今月は南に帰らなきゃいけないんだ。  
来年はかわいいお嫁さんを連れて、人間のお父さん、お母さん  
に紹介するつもりさ。  
だって、ここがぼくのみるさとだもの。



写真は、太陽の江口三郎さん宅に夕方に必ずやってくるアオバズクです。7月上旬に近所の木の下で発見しました。江口さんご家族4人の献身的な飼育の結果、すくすく育ち8月1日に放鳥、夕方になると、毎日姿を見せるそうです。アオバズクは、アジア中南部に生息し、4月に日本に渡来、10月に南へ帰る渡り鳥です。神社や森などで「ホウ、ホウ」と鳴く声を聞いたことはありませんか。大きさは30センチ弱で、黄色い眼に黒い瞳が特徴です。

取材したこの日も江口さん宅の居間で、好物のバッタを食べていました。ちなみにこのギョロ君、雄か雌かわからないとのことですが、江口さんは「息子か孫のようだ」と話していました。

来年も姿を見せてくれるといいですね。

## CONTENTS

### ～主な内容～

- まちのわだい P2～3
- こんにちは保健婦です。年金だより P4～5
- みんなのひろば P6～7
- 暮らしのインフォメーション P8～11